

2026年2月16日
株式会社ACS

ACSL、PF4による多数機同時運航実証を日本郵便と共同実施

- ▶ A C S L は、日本郵便が兵庫県豊岡市で実施予定のドローンの「多数機同時運航」実証において、長距離飛行マルチユースドローン「PF4」の提供及び運航支援を実施
 - ▶ 数多機同時運航による 1 機体当たりの運用コストの低減に向けた知見獲得を狙う
 - ▶ 顧客自身でペイロードカスタムが可能な PF4 を活用し、日本初となる物流・巡視用途での同一型式 2 機体の同時飛行を実現

株式会社 A C S L（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、A C S L）は、2026年2月24日から3月3日にかけ日本郵便株式会社（以下、日本郵便）が兵庫県豊岡市で実施するドローンの「多数機同時運航」実証（以下、本実証）において、長距離飛行マルチユースドローン「PF4」の提供及び運航支援を実施しますので、お知らせいたします。

■ 実証の概要

日本郵便とACSLは、生産年齢人口の減少が進む将来を見据え、中山間地域における持続可能な地域の物流機能の確立を目的に、2023年度より兵庫県、豊岡市と連携してドローン配送の実証を行ってまいりました。これまでの実証では、配送経路の拡張や完全遠隔運航などの成果が得られており、今年度はドローン物流の事業化に向けた重要な課題である「多数機同時運航」に取り組みます。従来の実証では、一人の操縦者が一つの機体を操作していましたが、複数機を同時に操作・監視できる体制が確立された場合、運用面での人件費削減につながり、ドローン物流事業の実現可能性向上が期待されます。

本実証ではACSLの長距離飛行マルチユースドローン「PF4」を2機提供し、1機が荷物を配送し、残りの1機が自然災害発生時を想定した巡視（土砂崩れ等の確認）を別々の飛行経路にて行います。同一型式機体による2用途同時飛行は国内初の取り組みとなります。



■長距離飛行マルチユースドローン「PF4」

PF4は、物流を中心に様々な用途での運用を可能にする、革新的な産業用マルチコプターです。物流仕様時には最大5.5kgのペイロード搭載時に40kmの飛行が可能な長距離飛行性能のほか、高い着陸精度、耐風性能、全天候対応など、実運用を前提とした高いフライト性能を備えています。さらにマルチユースで活用いただくため、物流・測量・調査・点検・夜間目視外飛行それぞれに適合したペイロードを搭載可能で、これらはユーザー自身で交換可能な設計となっています。

今回の実証で実施する同一型式機体による2用途同時飛行は、このペイロード交換機構を活用し、同じPF4を物流用途と巡視用途にそれぞれ設定し運用することで実現しました。これにより、機体運用や保守の標準化が図りやすく、地域での継続的な運用体制の構築に寄与することが期待されます。



長距離飛行マルチユースドローン「PF4」

製品名	PF4
寸法	アーム展開時：2,265mm×2,493mm×624mm（ロータ外形含む） アーム収納時：1067mm×924mm×624mm
機体重量	12.1kg（物流仕様時）
バッテリー	20,000mAh × 4
機体重量（バッテリー含む）	19.4kg（物流仕様時）
最大ペイロード	5.5kg（物流仕様時）
最大飛行時間	ペイロードなし：70分 最大ペイロード時：50分
最大航続距離	ペイロードなし：50km以上 最大ペイロード時：40km
最大伝送距離 (障害物や電波干渉がない場合)	4km（2.4GHz運用時） LTE通信圏内にて無制限（LTE運用時）
防水性能	10mm/h以下の降雨環境
最大対気速度	25m/s
最大飛行速度	20m/s
GNSS ^{※5}	GPS+QZSS（準天頂衛星みちびき）、CLAS対応
機能	ホットスワップ、リモートプロポ、内部機器二重化、フォールトトレランス、複数SIM対応（オプション）

マルチペイロード（一例）	物流 赤外線+可視カメラ（VIO）	LiDAR（Yellow scan 製 Ultra3+） 小型ジンバルカメラ（CX-GB200 等）
--------------	----------------------	---

ACS Lは、日本のドローン業界をリードするメーカーとして、今後も物流分野におけるドローンの社会実装を通じた「持続可能な物流」の実現に向け、機体開発や運用支援等の取り組みを推進してまいります。

【株式会社 ACS Lについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACS Lは、「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」をミッションに、国産の産業用ドローンを開発・量産するメーカーです。独自の自律制御技術と高い信頼性を備えた機体を提供し、空撮・点検・物流・防災など多様な領域で社会インフラの維持管理や安全・安心に貢献しています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 ACS L 広報担当（Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp）

以上